

夢をかたちに

)



NPO 法人
シニアライフセラピー研究所
NPO SENIOR LIFE THERAPY RESEARCH INSTITUTE

法人案内

理事長からのご挨拶



私自身が福祉の現場にホームヘルパーとして入ったのは1996年で介護保険制度がはじまる前の措置制度の時代でした。当時は今では行えない「話し相手」「見守り」「散歩介助」などがあり、明治生まれのご長寿さま達と長時間、向き合ってお話しする機会が沢山ありました。そこでいつも感心していたことは、どんな境遇にいる方も『幸せ』という言葉を口にしていたことです。『生きているだけで幸せ』と語る素晴らしい人との出会い・交流（伝承）がありました。

理事長
鈴木 しげ

2006年（当時30歳）に1人で地元にNPO法人を立ち上げ、1人ケアマネジャーとして事業をはじめました。介護保険制度の縛り、家族や近所付合いの希薄化など、冷ややかになった現場を感じ、傾聴ボランティアの養成をはじめました。人を支えるカタチはあっても、人を支える心（おたがいさま・おせっかい）が不足していました。

当法人は自ら稼いだお金を活用して、地域に余計なおせっかいを続け、ここまで展開してきました。これからも余計なおせっかい仲間と共に誰もが「幸せ」と感じるムラ（村）づくりを行っていきます。



開設当初



理事
澤村 直樹



理事
木村 由香



理事
木内 薫



理事
杉本 香子



理事
井上 朋代



監事
伊勢 哲郎

理念

「夢をかたちに」をモットーに、3つのキーワードを大切にしています

「こころ」

人間性とも言える、こころを大切にしています

「出会い」

人と人をつなぐことで、仲間・絆・信頼を築くことを大切にしています

「夢」

夢と共に語り、人生の目標を掲げて、生涯発達することを大切にしています

設立趣旨

NPO法人シニアライフセラピー研究所は2006年3月に設立されました。高齢化問題と、今まで日本を支えてきた方々を問題扱いする風潮があります。高齢者を問題扱いする「社会」が問題なのです。当法人名には「シニアライフ（シニアの人生）」を活用して、世の中を良くしていく「セラピー（療法）」ことを研究する場として命名しました。当法人では知恵者であるシニアの人生経験を活用し、地域福祉の向上を目指した活動を行うべくNPO法人を設立しました。

職員行動指針

1. 夢を語ること

夢を語り、その実現を目指すこと

情熱をもって取り組むこと

好奇心をもって何事にも関心を持つこと

4. 徳を積むこと

「仁」を持って人と接すること

出会いや輪を大切にすること

心や精神的な報酬を大切にすること

2. 勉学に励むこと

自分の技・業を常に高めること

良く考え、自分の哲学をうみだすこと

徹底的にこだわり、何事にも意味を持たせること

5. 自己管理ができるこ

自律した人間になること

常識力を身に付けること

責任を果たすこと

3. 常に前向きなこと

何事もプラス思考に考えること

自分も周りも楽しませること

何事も先ずやってみるという実行力をもつこと

ボランティアがしたい

- ・ボランティアステーション
亀吉

► p.6

地域とつながりたい

- ・亀吉 鶴楽舞 ► p.5
- ・憩いのサロン 亀吉 ► p.6

子育て仲間がほしい

- ・星の子・亀の子・風の子
ロッジ ► p.8
- ・子ども会 ► p.6

生活の「困った」
解決したい

- ・便利屋 亀吉 ► p.20
- ・ヘルパーステーション亀吉
► p.19

学びたい

- ・傾聴ボランティア養成講座
► p.9
- ・クラッセ亀吉 ► p.7

福祉
相談



おいしいものが食べたい

- ・福祉コミュニティカフェ 亀吉 ▶ p.12
- ・パン遊房 亀吉 ▶ p.13
- ・かめキッチン ▶ p.16

住まいのこと 相談したい

- ・福祉住宅支援センター
亀吉 ▶ p.17
- ・グループホーム 亀吉
▶ p.18

亀吉
よろず
窓口

障害があるけど仕事したい

- ・暮らしをより充実させたい
- ・障害者支援事業 ▶ p.11
- ・地域福祉支援センター 亀吉
▶ p.19

介護サービスを利用したい

- ・カルチャースクール 亀吉
(デイサービス) ▶ p.15
- ・地域福祉支援センター 亀吉 ▶ p.19



亀吉 鶴樂舞 (くらぶ)

鶴沼を中心に、様々な福祉活動を通して地域の人と人をつなぐサークルです

会員相互の交流を図りながら、その活動を通して地域の人と人とのつながり（絆）をつくることを目的としています。

このような目的で活動しています

1 地域の人と人との交流

2 赤ちゃんから
ご長寿さまの多世代交流

3 福祉の啓発と理解

4 地域での安全・
安心な関係づくり

5 未来の
子ども達への伝承





ボランティアとは 誰かにやさしい 思いやりの気持ちを向けること

1. 「お互いさま」の関係性をつくっていく場
2. 相手も自分も、共に知り合い、共に喜び合う場
3. 知恵と経験の蓄積によって、自分たちの地域文化をつくる場

3つの理念のもとに「やさしいムラ（村）づくり」を行っています。



家庭と家庭を結ぶのが「子ども会」 地域が地域の子どもを育てるために



1. 地域の人と人との交流
2. 赤ちゃんからご長寿さまの多世代交流
3. 福祉の啓発と理解
4. 地域での安心・安全な関係づくり
5. 後に続く子ども達への伝承



亀吉 子ども会

5つの理念の元

次世代型のICTでつながる
新型子ども会を目指します



生涯学習・生涯現役 いつまでも輝く仲間であるために

1. 自主企画・自主運営でお世話にはなりません
2. おせっかいし合える仲間と共に輝きます
3. 介護予防の場ではなく、生涯発達の場です



高齢化問題と世の中では言われますが
今まで日本を支えてきた方々を
問題扱いする社会が問題なのです。

いつまでも活躍し
輝くシニアがここにはいます。



クラッセ 龜吉

地域でのつながりをつくる『場』を提供しています



1. 学びの場

赤ちゃんからご長寿様まで、より良い人生を歩むためには学びが必要です。

クラッセで教えることでの学び（講師）

学ぶことでの学び（学習）、語り合うことでの学び（知恵の共有）、赤ちゃんからご長寿様まで、講師としても、受講生としても、ここが地域の人びとの学びの「場」となっていくことを私たちは願っています。

2. 仲間づくり

同じテーマに関心を持つ者同士が集まるということは、共通点が多く「仲間」になりやすいものです。クラスの受講を通して、お互い知り合い、語り合う中で共に成長し、関わり合うことで大切な仲間となります。そのような出会いにつながる「場」づくりを私たちは目指しています。

3. ご近所づきあい

ここでつながった仲間同士が、日常的に出会うことで「ご近所づきあい」が発展し、スーパーや道端で「立ち話」をする「場」が増えています。こころが通い合う仲間を増やし、共に安心して暮らせる豊かな場『鶴沼』にするために、立ち話の場を広げて行きたいです。

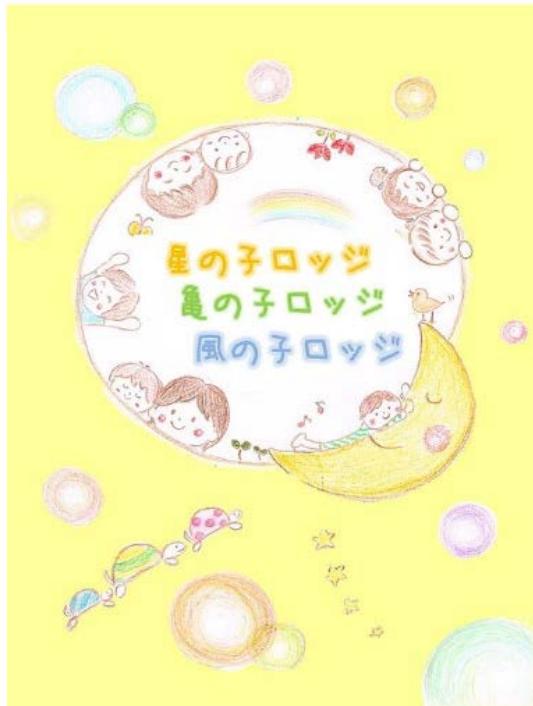


認知行動療法
亀吉保健室
終活
うつ集会



フラメンコ教室
フラダンス教室
中国茶講座
書道教室
陶芸教室

星の子ロッジ・亀の子ロッジ・風の子ロッジ



藤沢市鵠沼海岸でママ達が運営するボランティア団体です
親子のためのさまざまなクラスを開催しています
当法人ではこの活動を支援しています

先生たち自身も、地域で子育てをしているお母さんです。
お互いが仲間として交流を広め、そして深めながら共に
育ちあう場づくりを大切にしています。

星の子…妊婦さん～ねんねの子と
その保護者

亀の子…よちよちの子～未就学の子と
その保護者

風の子…年中さん～12歳までの子と
その保護者

クラス一覧 (2018年6月現在)

★ 星の子クラス

- ベビーヨガ
- 親子deフィットネス
- 手形足形ぺったんこ
- 赤ちゃんサインdeハッピーコミュニケーション！
- ベビーマッサージ（五感刺激）
- ベビーマッサージ（アロマ）
- 胎教☆パステルアート&カラー診断

亀の子クラス

- ママヨガ
- ドキドキ英語
- 曼荼羅パステルアート
- 就学前にモンテッソーリ！



風の子クラス

- やさしい書
- そろばん





こころを聴き こころに寄り添う

傾聴とは相手の話に耳を傾けてきくことです
しかし 大切なことは、なぜ聴くか？です

相手と良い関係をつくるため 相手をやさしく癒すため
家族仲良く暮らすため 職場で上手く活用するため…

様々な目的のもとで「こころ」を大切にしていく営み
それが傾聴の意義です

傾聴ボランティア養成講座

傾聴団体、社会福祉協議会、かながわコミュニティカレッジ等の主催で、全国あちこちで、傾聴ボランティア養成講座（入門）をはじめ、様々な研修（スキルアップなど）を行っています。

当法人では福祉現場での関わりをめぐる傾聴で
「人と人がこころを通わすこと」
「思いやりのこころを育てること」
「絆（きずな）をつくる力を養うこと」
など、人間性を高めていく学びを中心に
受講生自身の成長を促します。



当事者会の声を伝える

- ・うつ病当事者会
- ・精神障害者当事者会
- ・認知症当事者会
- ・知的障害者当事者会
- ・失語症当事者会
- ・高次脳機能障害当事者会
- ・認知行動療法当事者ワーキンググループ など

多くの当事者の方々の声を集めています。支援する側の思いで、本人抜きで支援するのではなく、キチンと本人の声に耳を傾けて、本人が何を望んでいて、何を望んでいないのかを、社会に伝えていくアドボカシー（権利擁護）を行っています。

日本傾聴ボランティア研究センター

当団体について

私たちは、人のこころに寄り添う傾聴ボランティアを世に送り出すことにより、こころ温まる地域福祉・社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的としています。

傾聴ボランティア活動に関心のあるすべての皆様に向けた研修をメインに、全国各地で傾聴活動をする個人・団体の皆様とのネットワークの構築、これまでにない傾聴ボランティアの新しい可能性の模索など、ひとつひとつの活動の集積が、全体として、より温かな地域福祉・社会づくりの推進へと繋がるよう取り組んでいます。



日本傾聴ボランティア研究センター 代表
澤村 直樹



研究会・勉強会・ゼミ

傾聴ボランティアの資質向上を目的として仲間と共に語り合ったり・実践するといった研究を行っています。

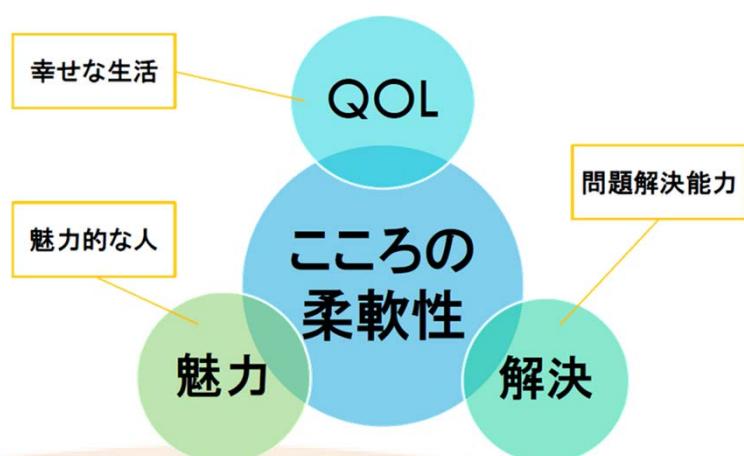
- I. ディスカッション（研究発表等）
- II. 実践研究（ロールプレイ等）

また、他にも傾聴関連の勉強会・研究会・イベントを定期的に開催しています。

傾聴トリートメンター[®] @商標登録出願中

当法人独自の手法として傾聴トリートメンターの養成を行っています。認知行動療法×ケースワークのコラボレーションにより、精神科で診断を受けたような方の心理療法を実際にを行い、成果をあげています。

クライエント自身が、自分自身のセラピストとなり、幸せに生きる先輩（メンター）となって、後輩をトリート（手当）していく存在へと導いていきます。



障害者支援事業

障害者支援事業

一人ひとりの力を活かして輝ける場づくりを

障害者支援事業では、障害者の方々の暮らし、住まい、仕事などについて支援するため、8つの事業を展開しています。たとえば、各種障害福祉サービスの計画相談支援事業（→p.19）、障害者就労支援事業（→p.12,13）などがあります。これら障害者支援事業では、以下の3つの考え方を大切にしています。

ひとの駅

地域にお住まいの赤ちゃん・子ども・パパママ・お爺さんお婆さん・ボランティアさんなど、老若男女・ハンデの有無・国籍などに関係なく人が自然と集まる場『ひとの駅』を目指しています。
きっかけはいろいろ。様々な人が行き交う場を創造しています。



福祉人

“福祉”とは『幸せ』のことです。ここでは障害を持った方が『福祉人』として、お客様、ボランティアさん、職員などを幸せにしていくことも担っています。支援されるだけの存在ではなく、共に幸せを分かち合える存在として輝いています。

創造

社会的には“仕事に人を合わせていく”ことが求められます、ここでは
『人に社会を合せて
その人を輝かせる仕事を創っていく』
のです。障害や個人の特性を素材にして、誰もが輝ける場を創造していくのです



福祉コミュニティカフェ亀吉

【就労移行支援・就労継続支援B型】

定員 6名・14名

日時 月曜日～土曜日（祝祭日も営業）
7:00～17:00（生活リズムに合わせて時間設定）

対象 各種障害者手帳をお持ちの方
又は対象となる障害をお持ちの方

料金 所得に応じて1割負担又は無料

特徴 個人に合わせたプログラム
ビジネスマナー・話し方教室・パソコン教室
グループディスカッション・ロールプレイ等
施設外トレーニング（福祉現場を中心として）
一般就労等を目指して共にスキルアップ

○タイムスケジュール（日勤の例）

- | | |
|--------|--------------------------|
| 8:30～ | 朝礼・体操 |
| 9:00～ | 1日の打合せ・目標確認
個別プログラム実施 |
| 12:00頃 | 昼食 |
| 14:30～ | 学びタイム・1日の振り返り |
| 15:30 | 終了 |



パソコン教室



料理教室



畑を仕事に



物づくりを仕事に



福祉現場で職場体験



美味しいカフェメニュー

営業時間：月～土曜 9:00～14:30（日曜定休）

100%牛ハンバーグ、生パスタ
アジアンフード、タピオカミルクティーetc
こだわりのランチを堪能できます



音楽で平和活動

ハートフルコンサート
おんぼらーずコンサート
ウクレレ教室
カラオケサロン
陶芸教室など
音楽や芸術を通して
人と人をつなぐ機会も創っています



Relationship Sociality Expression

営業時間：月～土曜 11:00～14:30（日曜定休）



私たちのパンは、すべてが国産・有機栽培の、
からだにやさしい素材でできています
厳選したこだわりの材料を使い、さまざまな障害をもつ方々が
楽しく、ゆったりと作りあげています
人もパンも、素材本来の力を信じて、味わい深く育ちました



～こだわりのパンづくり～

小麦粉はすべて国産にこだわり、できるかぎり無添加の素材を使用しています。
酵母はホシノ天然酵母を使い、パン生地は低温で2日間ゆっくりと熟成しています。
遠赤外線の出る溶岩石窯で焼き上げたパンは、
天然酵母特有のふんわりとした良い香りがします。

～パンづくりに携わる人々～

「パン遊房 亀吉」は、障害者就労継続B型を行う事業です。
パンは、就労支援事業所の仲間たちが作っています。
パンづくりを毎日楽しみながら、役割を持って働く喜びを感じられる場でありたいー
そんな思いで、店舗名には「遊ぶ」の文字を入れています。





あんぱん



こしあんぱん



チーズ
バーナー



抹茶マーブル



シナモン
ロール



レーズン
食パン

…メニューはごく一部です。商品開発、改良、期間限定販売に努めています。

パン遊房 亀吉のパンをネットショッピングで！

<https://panyubo.tanemaki.fun>

毎日の楽しみに、大切な人のギフトに

パン遊房 亀吉のパンは、藤沢市の
「ふるさと納税返礼品」に
選ばれています

2017年11月さとふるに登録され、
以降、登録からわずか2ヶ月
ふるさと納税・パン部門で
全国ランキング1位を獲得しています！



パン遊房 亀吉は、地域のお祭りやイベントでも出店しています

⌚ 鶴まつり（4月）

⌚ 鶴沼公民館まつり（10月）

⌚ 湘南T-SITEパンまつり（5月）



カルチャースクール 亀吉

当法人はパイオニア（先駆者）として
2007年に神奈川県初の
カルチャー式デイサービスを開設しました
自分たちが行きたい！と思える場
これからもパイオニアとして
自分たちの夢をかたちにしていきます

1. 生活リハビリテーション

生活リハビリとは、日常生活の中で機能訓練を行っていくものです。
例えば食事づくり。メニューを決めることから片付けまでの全ての工程が機能訓練になります。
多くの能力を自然に使えるような生活リハビリを、無理なく、楽しくできるように工夫をしています。

2. 遊びリテーション

遊びリテーションとは、遊びを取り入れることで、「こころ」を動かし、こころが動くと身体が自然に動き出す機能を活用した機能訓練です。

3. つながりゼーション

近所で支え合える関係が希薄になった今、「社会に貢献する仲間づくり」が大切です。人の役に立つ活動をするために集い、互いのことを思いやることを学び、活動するなかでこころ触れ合う関係を創っていく工夫をしています。



ラフターヨガ



ヨガ



太極拳



ファンクショナルエクササイズ



健康麻雀



言語リハビリ



書道



パソコン・スマホ教室

「働く×リハビリ」

さらに一步前に

デイサービスで働く利用者の料理が堪能できます

営業時間：月～金曜 9:00 - 15:30

ランチタイム 11:30 - 13:30 (ラストオーダー13:00)



デイサービスの機能訓練で料理を作る

当法人では、10年前より「料理×リハビリ」を行ってきましたが、包丁を持たせることの是非を招き、大変な活動でした。

そして2018年「かめキッチン」のオープンにあわせ、デイサービスをリスタート。食品衛生法上の規定を守り、一般の方々に提供する食事づくりを行います。利用者の知恵を活かした手料理が輝きます。



有償ボランティアとして労働の対価を得る

やりがいのある仕事がしたい、そしてその対価も欲しい…かめキッチンの料理を作り提供する利用者さんは、機能訓練の中で有償ボランティアとして働く、それがこの先進的デイサービスの大きな特徴。

利用者さんたちは、労働の対価として、かめキッチンの売上から謝金を受け取ります。



夢を叶えるツアー（保険外）



何のために機能訓練をするのか？

それは何かの目標があるから心が動くのです

「夢を叶えるツアー」は

要介護状態になったとしても

夢をもってリハビリに取り組めるように

感動をカタチにするツアーです。

車いす・ストレッチャー仕様の福祉車両で看護師も同伴してどこへでも旅に出ます。



福祉住宅支援センター 亀吉

高齢者、障害者、生活困窮者、子育て世帯、外国人など
むずかしい悩みを抱える方々に向き合うために――

首都圏初、全国でも5番目となる、
NPO法人による宅地建物取扱業です。

神奈川県の事業所として初の
『住宅確保要配慮者居住支援法人』
の指定を取得予定です（2018.6.15現在）。

住まいのおせっかい相談

福祉と住まいは密接な関係があるにも関わらず、宅地建物取引業まで関わる事業者は希少です。これからは一歩踏み込んだ、住まいの問題解決まで引き受けたいと考えています。



不動産教育

不動産をめぐるトラブルが多い一番の原因是、一般の方に知識が不足していることです。日頃から不動産にもっと関心を持って頂いて、トラブルを予防する。或いは賢く不動産を活用する。相続や将来設計も含めて学んで行くことが大切です。

空き家の活用

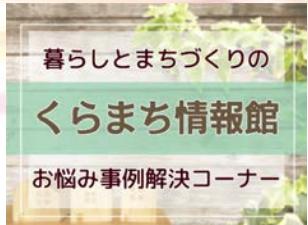
NPO法人である私たちであれば、様々な人と人とのツナガリの中で解決策を検討できます。単に更地にするだけでなく、想い出の家を、地域の福祉のために活用する方法も1つの選択肢です。

地域の古き良き家を守ることも私たちの仕事です。



くらまちプロジェクト

「くらまち」とは、「暮らしとまちづくり」の略
わたしたちの願いは、人々が幸せに暮らすことです
他に類を見ない不動産の専門家×ソーシャルワーカーのコラボで、住まい
をはじめとする暮らしとまちづくりの課題にじっくりと寄り添い取り組み
ます



くらまち情報館

住まいをはじめとする、暮らしとまちづくりのお悩み、
不動産の専門家×ソーシャルワーカーがコラボで取り組む事例紹介コーナー！月
1回、HP & フリーペーパーで発行

くらまち勉強会

暮らしに寄り添う 不動産ミニセミナー&個別相談会。不動産専門家と当法人
のケースワーカーが揃い、不動産と暮らしの「そこが知りたい！」をレク
チャーします



くらまち相談会

鶴沼地域の「暮らしとまちづくりのお悩み」ご相談窓口。まずは無料相談にて皆さ
まのお悩みをお聞きし、必要に応じて専門家によるサポートへと連携します

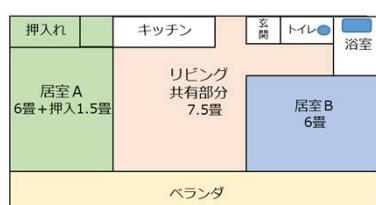


グループホーム 龜吉

グループホームとは…世話人の支援を受けつつ、
地域のアパートや戸建てなどで共同生活を行う場です



人は誰もが、住みよい街で快適に平穏な暮らしを送ることを望んでいます。
障害があってもなくても地域で普通に暮らすことのできる環境づくりを私た
ちは進めています



地域福祉支援センター 亀吉



生活を支える専門チーム

介護保険の 居宅介護支援事業



障害福祉サービスの 計画相談支援事業

ケアマネジャーによる
ケアプランの作成や相談
手続きなどのサポート

障害者相談支援専門員によるサービス等
利用計画の作成や相談、モニタリング、
手続きなどのサポート



藤沢市内には、介護保険の居宅介護支援事業者と、障害福祉サービスの計画相談支援事業者が、合わせて100件以上あります。

そのほとんどは、どちらか1つの事業のみ。

私たちは地域の福祉向上をめざし、生活をまるごと支える体制を整えます。

また、不動産部門と連携し、住まいなど暮らしの悩みにも向き合っています。

ヘルパーステーション 亀吉

自宅で日々の生活を快適に過ごすためのお手伝いをしています。
介護保険・障害福祉サービスに基づき、ヘルパーの派遣、
また福祉有償運送（移送サービス）も行っています。

●身体介護

- 食事介助
- 入浴介助
- 排泄介助
- 清潔の援助
- 移動介助
- 健康管理…

●生活援助

- 買い物
- 調理
- 掃除
- 洗濯…



■福祉有償運送

お1人で公共交通機関を利用することが
困難な方を対象とした有償移送サービスです。

街の生きがい便利屋 亀吉

便利屋 亀吉とは、御用をお聞きして解決する便利屋。
鶴沼を中心として近所での助け合い精神で活動するセミプロ
集団です

日々の暮らしの困りごと、お悩みに、さまざまなスキル・
力・技術をもった「おせっかいで気さく」な活動員たちが向
き合います



ちょこっと支援

家具の移動・電球交換・ごみ出し・安否確認…



簡単なお手伝い

庭仕事・買い物・修繕・話し相手・手続き代行…



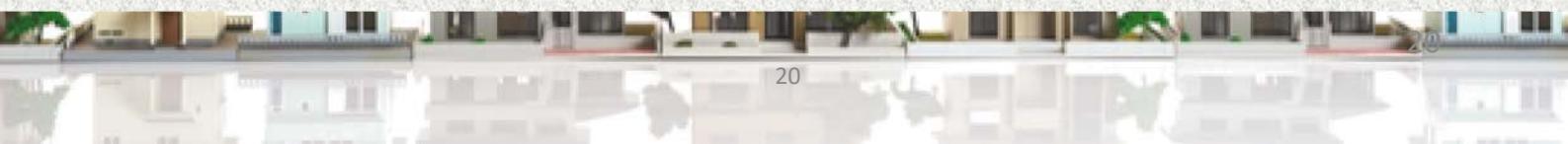
重労働

草むしり・引越し作業・大掃除・しつこい汚れ落とし…



高度な作業

樹木の剪定・ペンキ塗り・PC修復・設定





研究部門

確かな「知」を積み重ね、広める

傾聴、認知行動療法、地域福祉に関する研究を行う部門です。大学、学会、国内外の各種団体などと連携して、社会的課題に対するさまざまな取組の分析を行い、学術研究を深めていきます。



海外研究調査

海外福祉施設の訪問調査と情報交換



台湾



アメリカ



シンガポール



学術研究の成果を



種まき部門

世界と、福祉のこころでつながる
「海外支援事業」

グローバル化した現代では、さまざまな地域、国がわたしたちの生活ともつながっています。海外福祉施設やNGOと連携して、海外の福祉活動の支援を行っています。



さくらプロジェクト

タイ山岳民族の
子どもたちの学びと
成長に寄り添う

月1,000円からの支援。
タイ山岳民族の子どもたちが教育
を受けるための基金です。



広報支援部



学術研究とはなんでしょうか？わたしたちを取り巻くさまざまな事柄について、しっかりと観察し、記録し、分析し、信頼の置ける「知」として積み重ねていくことです。

当部門では、社会学、心理学、老年学、福祉学、健康科学などに取り組みます。そして、地域福祉の発展に役立たせるため、他の部門と連携し、得られた「知」を伝えていく。それが、わたしたち研究部門の使命です。

**研究部門 代表
木村 由香**



各種研究・発表



タイ



国内外の学会への参加・発表



インタビュー調査



アンケート調査

活かす、伝える――

法人の活動を「広報」で「支援」する――

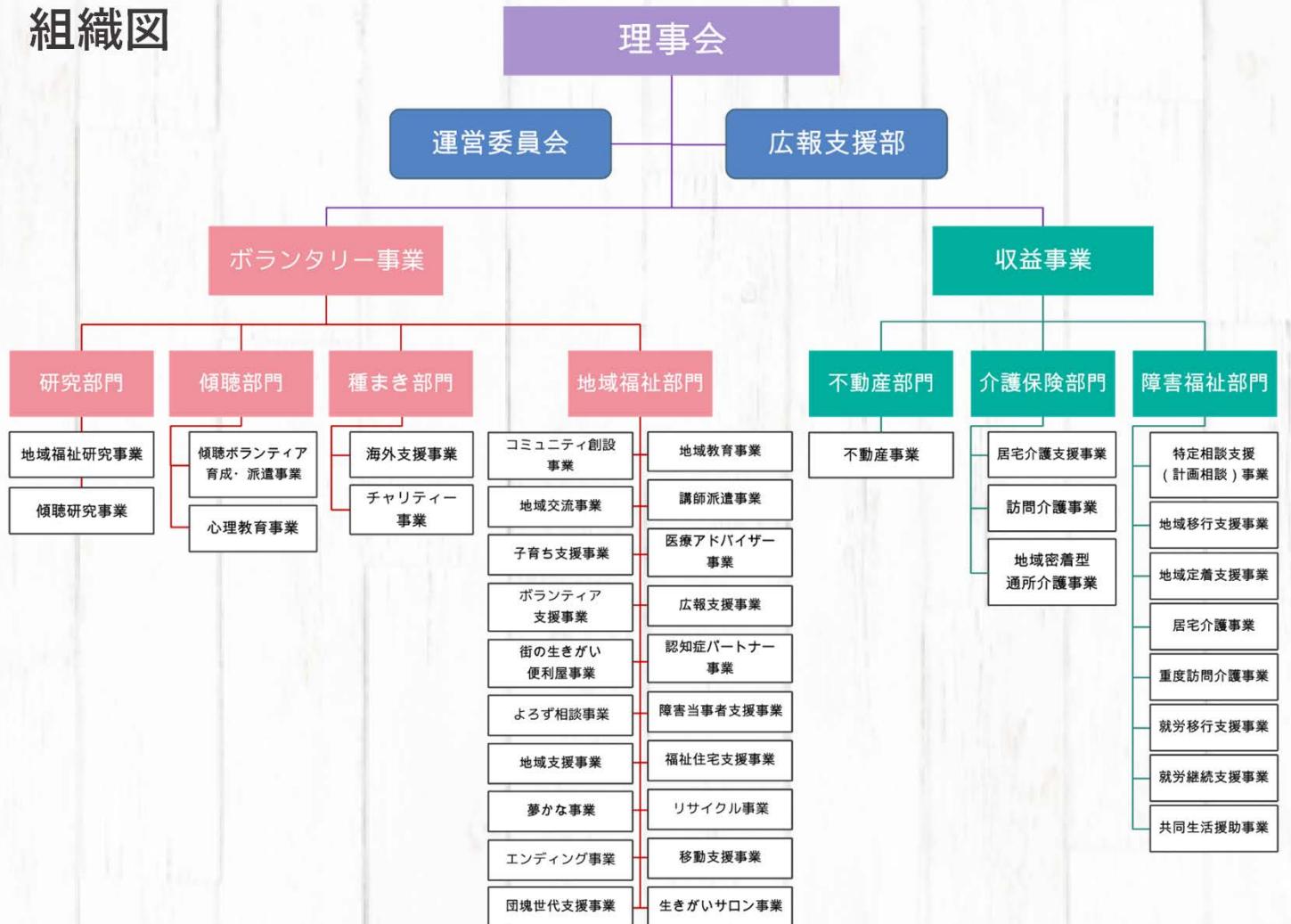
わたしたちの活動を知っていただくこと
ご意見をいただくことを通して、
よりよい活動へつなげていきます

当法人では、毎月プレスリリースを発信し、外部の情報メディアに情報提供を行っています。
また、各種フリーペーパーを発行し、皆さまの暮らしのサポートとなる情報をお届けしています。



月1回発行の情報誌と折込ニュース、ホームページ
（→P.29）、各種SNSやネットサービスを通じた発信も。
さまざまな方法で情報を、活動の成果をお伝えします。
さらに、皆さまの声をすくいあげ、新たな発見やこれまでの活動の改善、充実を図ります。

組織図



その他事業一覧

- コミュニケーション創設事業
- 地域交流事業
- 子育ち支援事業
- ボランティア支援事業
- 街の生きがい便利屋事業
- よろず相談事業
- 地域支援事業
- 夢かな事業
- エンディング事業
- 団塊世代支援事業
- 地域教育事業
- 講師派遣事業
- 医療アドバイザー事業
- 広報支援事業
- 認知症パートナー事業
- 障害当事者支援事業
- 福祉住宅支援事業
- リサイクル事業
- 移動支援事業
- 生きがいサロン事業



不動産部門

福祉住宅支援センター 亀吉



介護保険部門

居宅介護支援事業

訪問介護事業

地域密着型通所介護事業

障害福祉部門

特定支援（計画相談）事業

地域移行相談支援事業

地域定着支援事業

居宅介護事業

重度訪問介護事業

共同生活援助事業（グループホーム 亀吉）

就労移行支援事業（福祉コミュニティカフェ 亀吉）

就労継続支援事業 障害者就労継続B型

（コミュニティカフェ 亀吉・パン遊房 亀吉）

法人概要

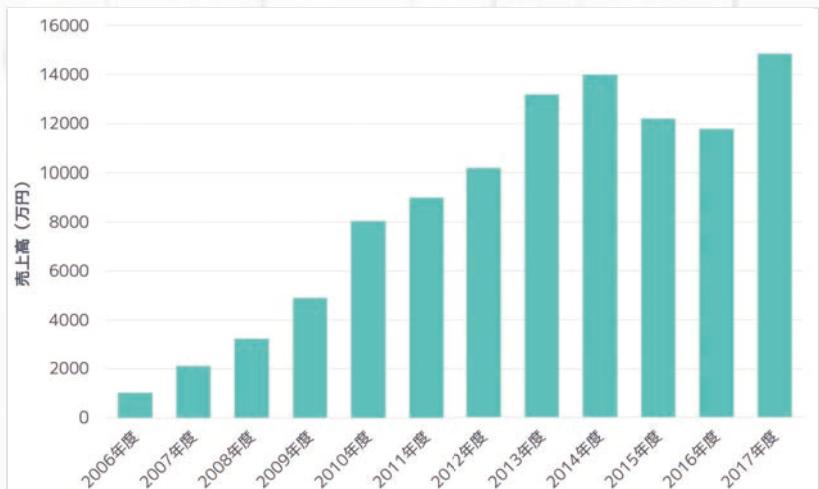
法人名	特定非営利活動法人 シニアライフセラピー研究所
所在地	神奈川県藤沢市鵠沼海岸 7-20-21
電話番号	0466-34-8550
FAX番号	0466-34-8552
代表者氏名	鈴木 しげ
活動分野	保健・医療・福祉／まちづくり／国際協力／子どもの健全育成／連絡・助言・援助
事業数	38事業（ボランタリー事業：26／収益事業：12）

これまでの歩み

2006年3月	内閣府認証NPO法人格を取得し、「NPO法人シニアライフセラピー研究所」設立
2006年4月	憩いのサロン亀吉（地域サロン事業）開設
2006年5月	憩いのサロン亀吉（ケアマネジャー事業）開設
2006年6月	福祉有償運送（移送サービス事業）開設
2006年11月	憩いのサロン亀吉（ホームヘルプ事業）開設
2007年6月	平成19年度藤沢市相互提案型協働モデル事業「傾聴ボランティア育成派遣事業」実施
2007年6月	独立行政法人福祉医療機構 長寿・子育て・障害者基金事業「自らが創る介護プラン普及事業」実施
2007年12月	カルチャースクール亀吉（デイサービス事業）開設 地域福祉支援センター亀吉（ケアマネジャー事業）名称変更 ヘルパーステーション亀吉（ホームヘルプ事業）名称変更 ※本拠地 藤沢市辻堂太平台へ 移転
	藤沢市公益的市民活動助成事業「ふじさわ介護マップ作成事業」実施
	平成20年度藤沢市相互提案型協働モデル事業「傾聴ボランティア育成派遣事業」実施
2009年12月	ネイチャーセラピー亀吉（デイサービス事業）開設
2010年1月	かながわコミュニティカレッジ「傾聴ボランティア養成講座」実施
2010年12月	憩いのサロン亀吉（生きがい対応型デイサービス 藤沢市委託事業）開設
2011年9月	子育ちサロン亀吉（サロン・自主保育）開設

2011年12月	街の生きがい便利屋『亀吉』（ボランタリー支援事業）開設
2012年4月	ウェルバランス亀吉（デイサービス事業）開設
2012年10月	丸亀キッチン（配食サービス事業）開設
2013年2月	福祉コミュニティカフェ亀吉（障害者就労移行・継続B型事業）開設
2014年9月	パン遊房 亀吉（天然酵母・国産小麦のパン屋さん）開設
2015年4月	亀吉本店統合（ウェルバランス亀吉・ネイチャーセラピー亀吉はカルチャースクール亀吉に統合）
2015年7月	グループホーム亀吉 壱番館（障害者グループホーム）開設
2016年4月	パン遊房亀吉（就労継続支援B型事業）に転換
2017年1月	福祉住宅支援センター亀吉（宅地建物取扱業・不動産業）開設
2017年4月	亀吉鶴楽舞（サークル）開設

売上推移



年間イベント

年間を通してさまざまなイベントを開催し、
地域の交流の場を創っています

1月 新年会

カフェにて本格料理を味わいます



7月 流しそうめん大会

竹を使った本物の流しそうめんを



2月 子ども会MTG

家族で楽しむバレンタイン



8月 皇大神宮祭・片瀬諏訪神社祭

活気と迫力あふれる祭りに参加



3月 春祭り

亀吉ならでは「和」のお祭り



9月 セプテンバーコンサート

皆で集い平和への思いを音楽に託します



4月 鶴まつり出店

地域の大イベントにパン遊房・
カフェが出店



10月 秋祭り

亀吉でハロウィンパーティー！



5月 BBQ大会

名物のブラジル式バーべキュー



11月 ちょっと早い忘年会

歌・ダンス・芝居と美味しい料理



6月 謝恩会

日頃お世話になっている方々に
感謝を込めて



12月 もちつき大会

おもちを食べて、来たる新年に向けて
福を招きます



サイトでつなぐ

あらゆるインターネットメディアを活用し、皆さんに情報を伝えしています。また、単に情報を発信するだけでなく、ネットを介してつながりや交流が図れるよう工夫しています。

シニアライフセラピー研究所
ホームページ

<https://slt.tanemaki.fun/>



パン遊房 亀吉
オンラインショップ

<https://panyubo.tanemaki.fun/>



メールマガジン

お申込先：
info.slt@tanemaki.fun

Facebook

- シニアライフセラピー研究所
- 福祉コミュニティカフェ 亀吉
- パン遊房 亀吉
- カルチャースクール 亀吉
- 憩いのサロン 亀吉
- 星の子ロッジ
- 風の子ロッジ
- 亀の子ロッジ
- 鈴木 しげ

亀吉本店 / パン遊房 亀吉 / かめキッチン

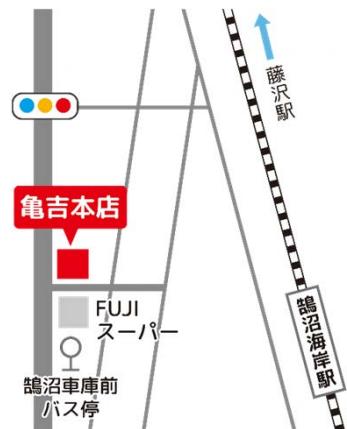
〒251-0037
神奈川県藤沢市鵠沼海岸7-20-21
Phone : 0466-34-8550／Fax : 0466-34-8552

アクセス

- (電車) 小田急線 鵠沼海岸駅 徒歩12分
- (バス) 藤沢駅北口バスターミナルより鵠沼車庫前行き
終点「鵠沼車庫前」下車 徒歩1分
- (車) 近くの有料駐車場等をご利用ください

この場所にある事業所

NPO法人 シニアライフセラピー研究所・事務局
亀吉鶴楽舞・ボランティアステーション 亀吉・亀吉子ども会事務局／地域福祉支援センター 亀吉／
ヘルパーステーション 亀吉／カルチャースクール 亀吉／パン遊房 亀吉／かめキッチン



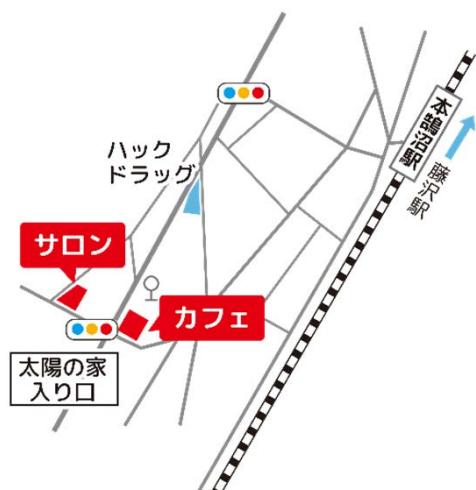
福祉コミュニティカフェ 亀吉 / 憩いのサロン 亀吉

【カフェ】 〒251-0037
神奈川県藤沢市鵠沼海岸7-5-30
Phone : 0466-62-0077／Fax : 0466-62-0078

【サロン】 〒251-0037
神奈川県藤沢市鵠沼海岸6-2-23
Phone : 0466-65-2551／Fax : 0466-65-2556

アクセス

- (電車) 小田急線 本鵠沼駅 徒歩 [カフェ] 12分 / [サロン] 14分
- (バス) 藤沢駅北口バスターミナルより鵠沼車庫前行き
「藤原」下車徒歩 [カフェ] 1分 / [サロン] 2分
- (車) [カフェ] 空いていれば駐車可 / [サロン] 駐車場なし



編集・発行

2018年6月16日 初版発行
特定非営利活動法人シニアライフセラピー研究所
🌐 <https://slt.tanemaki.fun/>
✉ info.slt@tanemaki.fun

© 2018 特定非営利活動法人シニアライフセラピー研究所
裏表紙写真撮影：福山雄司

未来の子ども達に引き継ぐ立派な活動を
共に夢を語りましょう

